学校番号	3030

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新 現代の国語」（桐原書店）						
副教材等	「トータルサポート新国語便覧　改訂版」（大修館書店）「生きる漢字・語彙力〈四訂版〉」（駿台文庫）「生きる現代文キーワード」（駿台文庫）「基礎現代文　大学入学共通テスト対策　新装二版」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働して考える活動を中心とします。
・「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」をバランスよく身につけ、様々な文章に対応できる読解力の基礎を築いてください。
・課題等は Google　classroom 等を通じて提示することが多いので、確認を怠らないようにするとともに、真摯に取り組んで応用力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「話すこと・聞くこと」の領域において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。また、論理の展開を予想しながら聞き、聞き取った情報を整理して自分の考えを広めたり深めたりしている。 ・「書くこと」の領域において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」の領域において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	叙述の内容を的確につかみ、論理の構成を捉え、要旨・要点を理解できる ［教材］ 『言葉の力』 『ほどほどのデザイン』 『演劇と「人間の速度」』	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：主張に対する論拠の妥当性、あるいは論拠に対する主張の妥当性を相互に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	Ⅰ自分の話す考えやその立場を明確にしたうえで、相手に理解してもらえるように表現できる Ⅱ聞き取った事柄を評価し、自分の考えを広げられる ［教材］ 『問いの立て方とオリジナリティ』 『情動の必要性』 『レオーノフの帽子屋』	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 b[話・聞]：話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：自分の思いや考えが伝わるように様々な工夫をし、最後まで粘り強く発表する内容について吟味しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
後期	与えられた文章や図表の情報を正しく読み取ることができる ［教材］ 『サイボーグとクローン人間』 『食の履歴書』 『経済の論理／環境の論理』	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：示された資料やデータから導き出された論拠や主張の妥当性を検討し、理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	Ⅰ自分の考えを的確に伝えられるように正しく論拠を示しながら文章を展開することができる Ⅱ論拠に必要な正しい情報を集め、示すことができる ［教材］ 『言葉は「ものの名前」ではない』 『遅れてきた「私」』 『わかろうとする姿勢』 『アリューシャン、老兵の夢と闇』	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[書]：目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができている。 c：様々な切り口から考えられた主張に触れ、そこから得た知見を踏まえて自分の考えた言葉で書こうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間
・書くこと　…　（　３０　）時間
・読むこと　…　（　２０　）時間